

第 24 回議会報告会 報告書

地域名	南谷地域		
年月日	令和 5 年 4 月 27 日 (木)	会場名	南谷ふるさとセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参加数	男性 21 人	女性 2 人	合計 23 人
班 長	浄慶 耕造	司会者	浄慶 耕造
報告者	浄慶 耕造、深澤 巧、 瀬原 敬樹、田路 之雄	書記	浄慶 耕造
班員名	浄慶 耕造、深澤 巧、瀬原 敬樹、田路 之雄		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 不登校の子が通う「ほっとステーション」が広谷にできるということだが、例えば大屋の子が広谷まで行けるのか。</p> <p>② 今学校を「さぼっても」構わない。多様な子どもの成長を支援すべきだ。ステーションは賛成だ。</p> <p>③ オンライン投票とあるが、障がいがあったり、病気で投票所に行けない人が、パソコンで投票できるようになるのか。</p> <p>④ 高齢者等のタクシー補助制度は、医療機関が近いところと遠いところで不公平感がある。どう考えるか。</p> <p>⑤ 議会はインボイス制度反対の請願を不採択にしているが、どのような議論がなされたのか。</p>	<p>① 交通費を補助することは決まった。ステーションまでの交通の便は、教育委員会が対策を講じるとしている。</p> <p>② 不登校でも、保健室登校でも、しっかり自分の進路をつかんだ若者が何人もいる。不登校の学習支援が充実してきた。</p> <p>③ 今回の取組は、期日前投票や、投票所での本人確認をマイナンバーカードでやろうとしている。PCやスマホでの投票は公職選挙法の改正を待たなければならない。</p> <p>④ 喜ばれている制度だが、運用には改善の余地がある。地域の声を集めて届けていきたい。</p> <p>⑤ 議会はこれまで2度にわたって「シルバー人材センターへのインボイス適用」に反対の意見書を出してきた。インボイス制度そのものに反対だが、効果的な取組を考えた。</p>	
意見交換会での質疑	<p>① 議員の一般質問だが、市長答弁は最初だけでほとんど部長が答えている。質問が軽いからではないか。聞くだけでなく、しっかり提案を入れてほしい。</p>	<p>① 議会運営委員会で振り返りの場を設けている。議会改革という視点から、一層努力をしていきたい。</p>	

	市 民	対 応
意見交換会での質疑	② 区長は地区ではトップだが、自治協議会では実働部隊だ。2つの組織に1人の人間が関わっている。市への要求は各区長名で行っている。市は、区長会と自治協をどういう方向にしようとしているのか見えてこない。生野（朝来市）の例を聞くと、自治協は別のスタッフだ。	② 自治協の地域活動推進員は区長会の事務局ではないが、地域課題の解決を担おうとすると、自治協と区長会の関係の整理が必要となってくる。すぐには解決できないが、皆さんと一緒に考えていきたい。
	③ 大屋と関宮は確定申告の相談日が週4日と1日少なかった。19日の相談期間の中で他地域と比べて4日少ない。合併から20年、人口少数地域でどのようなサービスが縮小されているのか調べてもらいたい。	③ 行政の効率化ということで、過去にも少数地域のサービスが削られようとして止めたことがあった。「人口が少ないから」という言い訳をしない行政にしなければならない。覚悟をもって議論をしていく。
	④ 公会堂を改築すると5,000万円がかかる。とても無理なので改修を考えている。それでも市からの補助金は100万円だ。補助制度の見直しが求められないか。	④ 100万円の補助ではどうしようもない、と言われている。他の地域でも同じ話が出ている。地区集会場の修繕について、市の公共施設整備施策の中に位置付けることが必要である。議会で調査してみてもよいと考える。
	⑤ 自治協の予算が足りない。余っているところの融通はできないのか。	⑤ 議会として自治協への補助金の新設が必要と求めている。活動に応じた制度にすべきだと考えている。
	⑥ 指定緊急避難所までが遠い。安全な避難の在り方を考えてほしい。	⑥ ご意見としてお聞きした。
	備考 なし	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和5年5月12日

報告者 3班 班長 淨慶 耕造